

平成 30 年度 第 6 回意見交換会実施記録

1. 実施結果

- ・開催日時 平成 30 年 12 月 19 日 (水) 19:00~20:30
- ・会場 ラ・ホール富士 5 階研修室
- ・概要 3R 協働活動ボランティア登録制度について
- ・出席者 市民 21 名
事業者 5 名 (2 社)、富士市職員 3 名、進行 1 名 計 30 人
- ・進行 坂本竜児 (NPO 法人エコデザイン市民社会フォーラム スタッフ)

2. 内容

(1) あいさつ

- ・(前回の補足として) 森林環境創造ゾーン (ビオトープ) に山田辰美先生の指導が反映されていないという意見があった。市、事業者としては、事業者の提案に関するアドバイスのために、4 回打合せを行った。改めて、山田先生に確認したところ、工事現場から思ったほど岩が出なかったこと、安全性の観点から傾斜角度を少なくしたことなど、反映できない部分もあったが、おおむね山田先生も了承済み。



あいさつ、ビオトープ補足

(2) 趣旨説明

- ・今回はボランティア登録制度に関する意見交換会。まだ、決まっていないところも多く、私が見学してきたエコットをベースに紹介する。1 月にエコットを見学して、2 月の意見交換会で富士市らしいボランティア登録制度にしたい。



趣旨説明 / ボランティア登録制度の説明

(3) 3R 協働活動ボランティア登録制度について

- ・環境学習施設の必要性や目指す姿を改めて確認。
- ・豊田市環境学習施設エコット、富士市地区まちづくりセンター、富士市民活動センター コミュニティ f の休館日、開館時間、施設内容 (諸室)、料金、事務局体制、活動内容を紹介した。環境学習施設の運営を考えるにあたり類似施設を参考にするとよい。
- ・ボランティアの活動範囲は、循環啓発棟の修理再生エリアと工場棟 (見学通路) の案内が中心。屋外のビオトープもあるが、活動内容は絞ったほうがボランティアしやすい。
- ・4 つの基本方針の確認があった (リーフレットより)。市民が主役になっていくことが期待されている。主役とは、来場者、利用者、案内するボランティア (今回の検討事項) 等がある。
- ・施設を案内する活動者は参加型の学び (インタープリテーション方式) で案内してほしい。そして、市民が市民に伝えることで 3R 協働活動を広げてほしい。



ペアワークの様子



意見紹介の様子

- ・施設で活動できる人は、平日昼間に人と接することが好きな人、自発的な活動ができる人、月 1 回以上活動できる人、1 回 4 時間程度のシフトに入れる人、一定のレベルを保つため 6 回程度のボランティア育成講座を修了した人など。
- ・施設の来館者は、平日昼間なら未就園児の親子、専業主婦や高齢者、小学 4 年生の社会科見学が想定される。施設を案内することを想定すると、小学 4 年生向けの案内を土台に講座を組み立てる。
- ・講座終了後も研修や自主トレでデビューに向けて練習を積み重ねていく。
- ・毎日誰かが案内をする係を担うために活動シフト調整を行う。エコットでは 2 か月前の 20 日にボランティア活動予定申請書を事務局に提出し、前月の 5 日までにシフトを決定する。70 人のボランティアの管理をエクセルでやっているので入力や調整が大変。時間がたつにつれて、わがままがでてくることもあるが事務局がうまく調整することが大事。
- ・セルフワーク、ペアトークを通じて、①求めるボランティア像、②必要な要素、③こんなボランティアはイヤだを深めた。
- ・意見として、みんな違っていい（案内の仕方は人それぞれ）、参加者の目線に合わせた対応ができるとよい、楽しく話せるボランティアがいるとよい、現在活躍している市民の登用も視野に入れてほしい、といった意見があがった。

(4) 情報交換

- ・富士市役所：環境フェアにご協力感謝します。みんなの会のチラシ、バス研修のチラシを配布。クリスマスカードづくりではたくさんのお親子が足を止めてくれました。バス研修やメーリングリストの申し込みもその場であった。
- ・川重 JV：運営活動ワーキンググループとしてプログラムに合わせた備品を検討している。
- ・準備会事務局：もっと気軽に楽しく話し合いができる場をつくりたい。
- ・市民：
 - ・環境学習施設のプログラムの基を提案した地元地区メンバーに現状の説明を 12/22 に行う。
 - ・所属する NPO で四日市公害と環境未来館に見学に行った。見学の最後に裁判の傍聴記録があった。
 - ・桜環境センターに見学に行った（内容は、運営活動 WG で紹介したので割愛）。

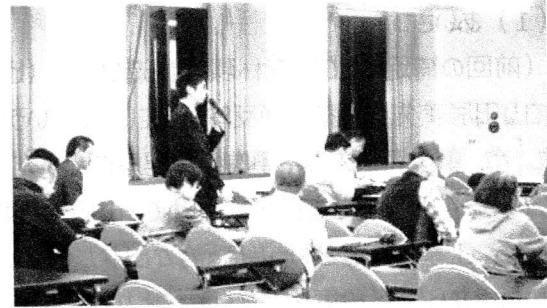
(5) その他

- ・準備事務局が設置したメールの性格について
新メンバーも入っているので、メールは情報発信のみとしてシンプルに運用し、意見は情報発信者に直接メールをする。
- ・エコット見学会（1/19）について、申込書の提出と声掛けをお願いした。

情報交換の様子



富士市



川崎重工



グリーン工房



準備事務局

以上